

〔第162回明専塾（本田技研工業株）戸畑キャンパス開催〕

## 「夢」への「挑戦」

工学府物質工学専攻M1 中村 亮太



平成30年11月16日、戸畑キャンパスにおいて第162回明専塾が開催されました。参加人数は講演会が約120名、懇親会が約100名でした。講演内容は本田技研工業株式会社の概要と4名のOB・OGによる各研究開発の紹介でした。

ホンダは二輪、四輪、パワープロダクツ、航空機といった幅広い事業展開を行っている企業です。その中でも二輪車の販売台数は世界トップシェアを誇っています。講演を通して、ホンダの社員はそれぞれが挑戦する楽しさを持って研究開発をされており、その姿勢は社会人としても大切であるということを教わりました。将来、就職活動を控える私にとつ

て大変貴重な時間となりました。

自動車業界は、今や100年に一度の変革期を迎えています。地球環境問題解決に向けた次世代自動車や、誰もが安心・安全に運転できる自動運転システムの開発など様々な技術が注目されています。講演を聴講して感じたのは、その中で一人ひとりがより良い自動車を社会に送り出そうと熱い想いを持ち、主体的に取り組んでいたことです。新入社員の方でも、実際に自動車に乗って、「ここをこうしたらいいんじゃないか？」とお客様の目線に立ってアイデアを出していました。さらには、高齢者でも操作しやすい新しいカーナビを企画し、製品化まで行っていました。ホンダの概要の説明の際にも強調されていたように、年齢や性別、学歴などの属性に関係なく平等にモノづくりに励むことができ、一人ひとりに輝く場があると強く感じました。鳳龍会館で行われた懇親会では、立食形式で食事をしながらOB・O

Gの方々とは懇談しました。ホンダについてはもちろん、就職活動のアドバイスやプライベートの話まで何うことができ、大変有意義な時間を過ごすことができました。その中で印象に残ったのは、「ホンダの仕事場では、言われたことをやるより、自ら考えて取り組む人がほとんどである」という話です。ホンダではこのように主体性を持った人が多いことから、自分の研究に関係のない別の研究をも会社の支援で取り組むことができる制度があることも知りました。実際に、ホンダは二輪・四輪車に留まらず、航空機やロボットなど夢のある事業にも取り組んでいます。こうした取り組みも誰もが夢に挑戦することができると環境が整っているからこそだと感じました。夢を常に持ち、それに向かって一人ひとりが主体的に取り組むことで、全体として大きな力を発揮するを知りました。

私は、今回の明専塾が初めての参加でしたが、実際に企業の方と交流することで、社風や生の声を聞け、多くの情報を得ることができました。これから就職活動をしていく上で、このような交流の場に積極的に参加

していきたいと思います。

最後になりましたが、この場をお借りして、私たちのためにご講演してくださった竹本悠作氏（機宇H29）、林健太郎氏（応化H25）、森愛美氏（応化H26）、山中麻由氏（電シH25）と同社の諸先輩方、及びこのような貴重な機会を設けていただいた明専会の方々へ心より御礼申し上げます。

（平成30年11月記）



懇親会の様子